

効果的な授業改善（事例）

主体的な学びの視点からの授業改善 ▶ 小学校 家庭科 上手に使おう お金と物

【本時の目標】

物を選ぶときのポイントを知ろう。

本授業のポイント

本時の課題を具体的に説明し、「物を選ぶときのポイント」とは何かを大型モニターに映し出しておく。具体物や写真を用意し、子供たちの生活経験と関連させる。

本授業の展開



- ・本時の学習内容を確認する。
- ・選び方のポイントを考える。
- ・買い物の模擬体験を行う。
- ・課題について、個人・グループ・クラス全体で考える。

子供たちが自分の考えを表現するための手立て
「課題（目標）を正しく子供たちに伝える」

- 例
- ・子供が課題をイメージできるようにする。
 - ・いつでも課題に戻ることができるようにする。

対話的な学びの視点からの授業改善 ▶ 小学校 生活科 たのしい あき いっぱい

【本時の目標】

見つけた秋を紹介しあおう。

本授業の展開

- ・一人一人が見つけた樹木、虫などの秋の様子をカードを貼りながら班で紹介する。
- ・話し合った内容を班ごとに紹介し、夏の頃と比べながら クラス全体で話し合う。
- ・気づきカードを書き、本時の活動を振り返る。



本授業のポイント

一人一人の考えを可視化したグループの話し合い。
クラス全体の考えを可視化した板書



子供が友達の発言を受け止め、自分の意見と比べるための手立て
「子供たちの考えを広げられるようにする」

- 例
- ・子供の発達段階に応じた考えるための技法(思考ツールなど)を使って情報を整理し、可視化することで考えを共有できるようにする。

深い学びの視点からの授業改善 ▶ 中学校 国語 いにしえの心と語らう

【本時の目標】

三大和歌集に登場する「恋」をテーマにした和歌を読み、三大和歌集の特徴を考えよう。

本授業の展開

- ・三大和歌集の基礎知識を確認する。
- ・それぞれの和歌を読む。

【エキスパート学習】和歌の内容を理解する。

A 万葉集 B 古今集 C 新古今和歌集

【ジグソー活動】和歌の意味、特徴を理解する。

AからCの共通点、相違点を話し合う。

【クロストーク活動】

- ・三大和歌集の特徴を考える。

本授業のポイント

課題に興味をもたせるために、中学三年生という学年を考慮し「恋」というテーマを取り上げ、時代背景、その時代に生きた人の感情をとらえさせながら、課題にせまる。



本授業のポイント

既習内容の現代短歌の学習を生かし、三大和歌集の様々な表現に着目させる。協調学習を用いて、着目した表現から多面的多角的に課題をとらえさせる。

子供が「見方・考え方」を働かせるための手立て
「各教科の特性に応じた『見方・考え方』を明確にする」

- 例
- ・新たな考えを創造できる活動（課題）を設定する。
 - ・働かせた「見方・考え方」を表現する場を設ける。

学びの評価・振り返りをととした授業改善 ▶ 中学校 数学 平行と合同

【本時の目標】

$\angle x$ の大きさを求めよう。
また、求め方を説明しよう。

本授業の展開

- ・既習内容を確認する。
- ・実際に長方形の紙を折ることで等しい角や辺の長さを見つける。
- ・友達に説明する。
- ・新たに分かったことをまとめる。
- ・問題を作成する。



本授業のポイント

実物を用いて確認することで、課題に見通しをもたせる。
課題解決が類似問題を作成、解くことにつながるように生徒同士で筋道を立てて考える場を設ける。

子供に学びの成果や課題を実感させるための手立て
「本時の変容を見取り、子供自身にも実感させる」

- 例
- ・本時で学んだことを生かし、類似問題に取り組む。
 - ・子供たちが自分の言葉で課題に対しての振り返りを行う。